

平成19年9月中間期 会社説明資料

平成19年12月

南総通運株式会社

(ジャスダック・9034)

会社のプロフィール

平成19年12月現在

商号 南総通運株式会社

本社 千葉県東金市東金582番地

代表者 中村 隆則

設立 昭和17年11月10日

資本金 53,850万円

売上高 7,258百万円

従業員 327人

昭和17年11月	資本金350千円をもって千葉県山武郡東金町東金586番地に南総通運株式会社を設立
昭和18年 1月	区域貨物自動車運送事業開始
昭和30年 7月	千葉県東金市東金587番地の6に本社移転
昭和36年12月	倉庫業許可書を取得し茂原市・東金市にて営業開始
昭和47年12月	関係会社南総タクシー株式会社(現連結子会社)を設立
昭和49年 1月	関係会社南総総業株式会社(現連結子会社)を設立
昭和54年10月	関係会社南総建設株式会社(現連結子会社)を設立
昭和57年 3月	関係会社南総電子工業株式会社(現連結子会社)を設立
昭和62年 3月	千葉新港通運株式会社(現連結子会社)の経営権取得
平成 9年10月	千葉県東金市東金582番地に本社移転
平成10年 3月	株式追加取得により南総総業株式会社・南総建設株式会社・南総電子工業株式会社・千葉新港通運株式会社を100%出資子会社、南総タクシー株式会社を99.9%出資子会社とする
平成10年12月	宅地建物取引業免許を取得し不動産事業を開始
平成13年 3月	店頭登録銘柄として日本証券業協会に登録
平成15年 8月	関係会社JFロジスティクス株式会社(現連結子会社)を設立
平成16年 5月	ISO9001・ISO14001同時取得
平成16年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消しジャスダック証券取引所に株式を上場

当社のグループは、南総通運株式会社（当社）並びに子会社の南総総業株式会社、南総電子工業株式会社、千葉新港通運株式会社、南総建設株式会社、南総タクシー株式会社、九十九里タクシー株式会社及びJFロジスティクス株式会社の8社で構成されており、物流事業を主な事業の内容とし、その他に建設事業、不動産事業、その他事業（旅客自動車運送事業及び保険代理店業）を行っております。

平成19年9月中間期 決算概要

南総通運株式会社

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、米国のサブプライムローン問題による同国経済の減速、それを発端とした金融市場の混乱など不安定要因はあったものの、堅調な企業収益に支えられた民間設備投資の増加や雇用環境の改善が見られ、景気は引続き緩やかな拡大基調で推移いたしました。物流業界におきましては、中国を中心とするアジア経済が引き続き高い成長を維持し、国際貨物輸送量は堅調に推移したものの、国内貨物輸送量は引続き低調な動きとなりました。また、原油価格高騰による燃油価格の高止まりが輸送コスト増に繋がり、激化する企業間競争や顧客のコスト削減による低運賃・低価格化等もあり、引続き厳しい環境でありました。

このような経営環境の下で当社グループは、お客様のニーズに対応した物流サービスの提供により既存顧客との取引拡大と新規顧客の開拓を積極的に推進するとともに、コスト削減のため輸送の効率化と経費節減にも積極的に取り組んでまいりました。この結果、当中間連結会計期間の営業収入は72億5千8百万円と前年同期比1億9千2百万円、2.7%の増収となり、経常利益は7億4千2百万円と前年同期比1億1千5百万円、18.4%の増益となりました。中間純利益は4億3千万円と前年同期比7千4百万円、21.0%の増益となりました。

損益計算書（連結）

（単位：百万円）	平成18年9月中間期	平成19年9月中間期	前期比	備考
営業収入	7,066	7,258	2.7%	不動産賃貸物件等増加等
営業支出	5,994	6,104	1.8%	
一般管理費	365	332	△ 9.1%	
営業利益	706	821	16.3%	
営業外収益	33	44	31.9%	
営業外費用	112	123	9.3%	
経常利益	627	742	18.4%	
特別利益	0	0	△ 38.9%	
特別損失	0	4	453.6%	
当期純利益	355	430	21.0%	

貸借対照表 (連結)

(単位：百万円)	平成18年9月中間期	平成19年9月中間期	増減	備考
流動資産	4,742	4,549	△ 192	
固定資産	22,348	22,948	600	不動産賃貸物件建設等による増加
資産合計	27,090	27,497	407	
流動負債	7,991	7,256	△ 735	短期借入金等減少
固定負債	8,939	9,546	607	長期借入金等増加
負債合計	16,931	16,802	△ 128	
資本金	538	538	—	
資本剰余金	497	497	—	
利益剰余金	9,051	9,603	551	
資本合計	△ 4	△ 6	△ 1	
株主資本合計	10,083	10,633	549	
評価・換算差額等	73	59	△ 14	
少数株主持分	1	1	△ 0	
純資産合計	10,159	10,694	535	

キャッシュ・フロー計算書（連結）

(単位：百万円)	平成18年9月中間期	平成19年9月中間期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	690	460	△ 229	役員退職慰労引当金、預り 保証金減少等
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 580	△ 610	△ 29	定期預金の増加等
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 58	226	285	長期借入金の借入増加等
現金及び現金同等物の 増加額	50	76	26	
現金及び現金同等物の 期首残高	1,704	1,625	△ 79	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,754	1,701	△ 53	

セグメント別営業収入

(単位：百万円)

セグメント	平成18年9月中間期	平成19年9月中間期	比較増減
	営業収入	営業収入	金額
物流事業	6,333	6,372	38
建設事業	543	474	△ 69
不動産事業	303	505	201
その他事業	232	227	△ 5
消去又は全社	△ 347	△ 321	26
合計	7,066	7,258	192

平成20年3月期 決算予想

南総通運株式会社

平成20年3月期 業績予想（連結）

(単位：百万円)

	平成19年3月期 実績	平成20年3月期 予想	増減
営業収入	13,778	14,009	1.7%
営業利益	1,273	1,460	14.7%
経常利益	1,203	1,257	4.5%
当期純利益	526	713	35.5%
EPS（円）	105.42	142.93	35.6%
ROE	5.2%		

EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 自己資本利益率

上記の予想は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

経営方針

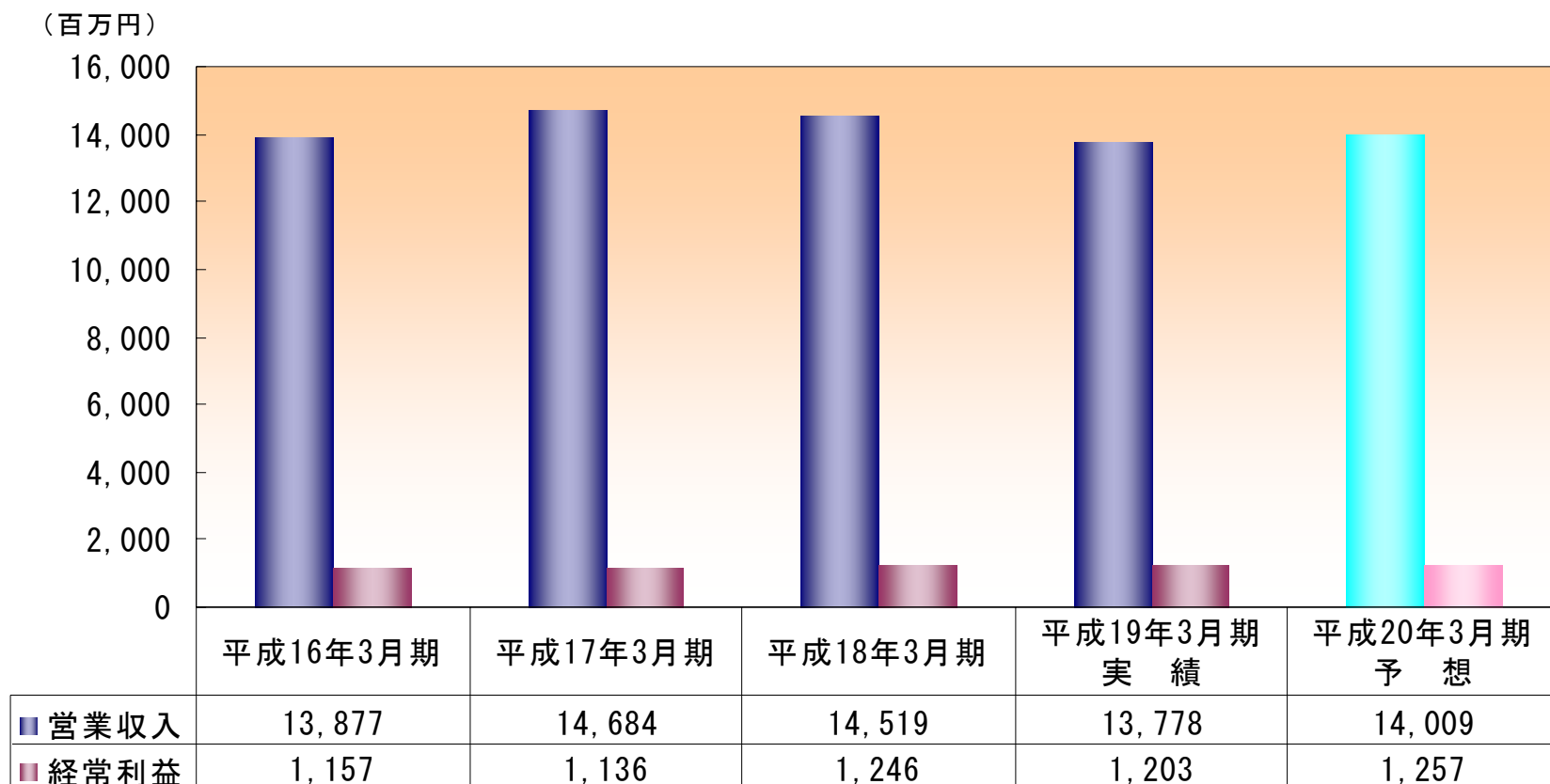
当社グループは、物流サービスを提供することにより、地域社会の経済の発展と生活向上に寄与し、公共的な事業を営む企業として環境問題を始めとする社会問題等に責任を果たし、株主、お客様に貢献し、信頼される総合物流企業をつくりあげることが経営方針にしております。

その実現のために「お客様第一主義」をモットーとし、お客様に品質の高い物流サービスの提案、提供に努め、財務体質及び営業力を強化し、収益力のある安定した企業経営に推進してまいります。

今期の取り組み

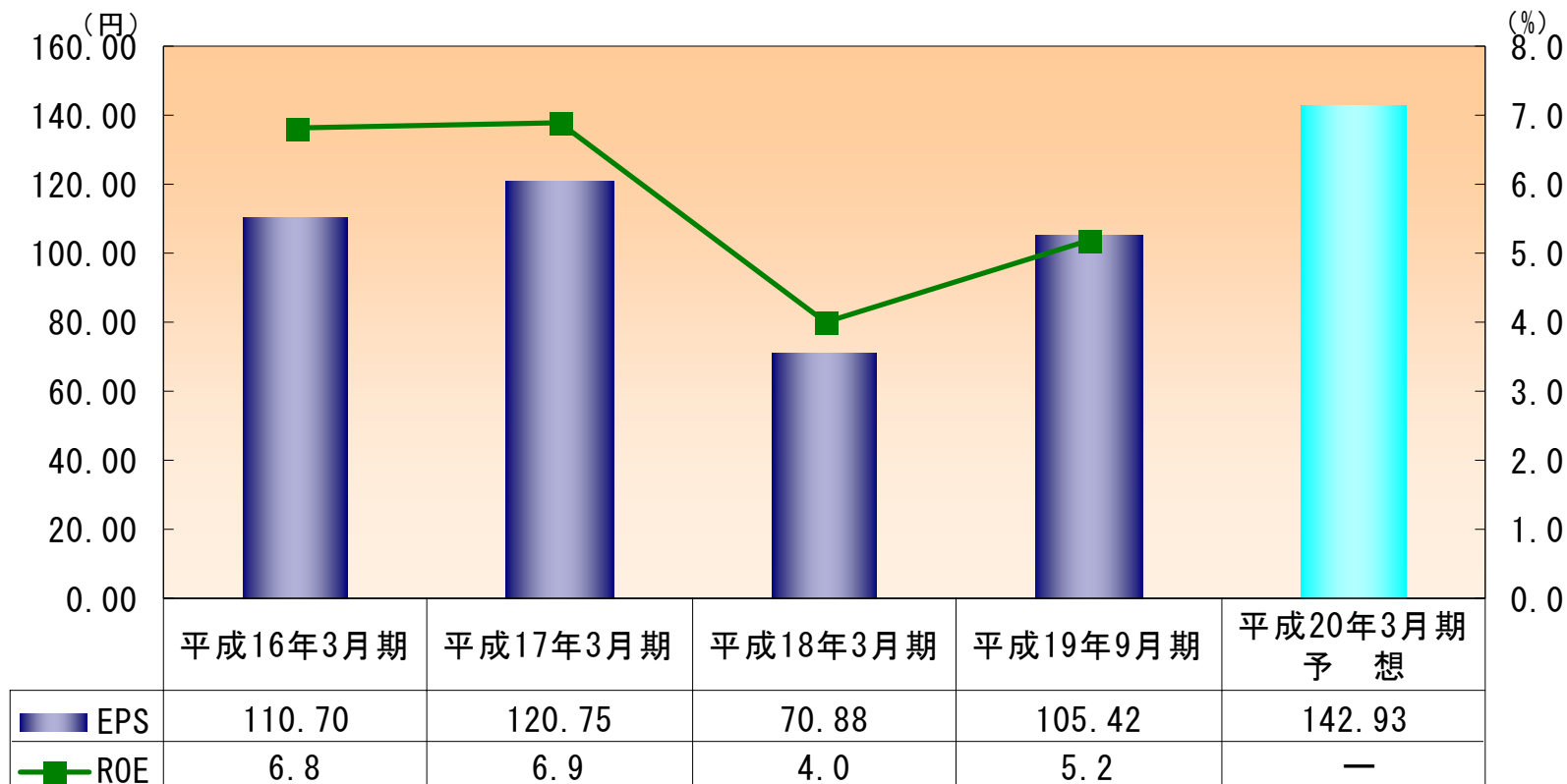
- ① 「事故防止」「安全・安心」「環境の整備」の推進
- ② 営業強化、拡大、合理化の推進
- ③ 人材の育成

営業収入・経常利益の推移（連結）



上記の予想は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

EPS・ROEの推移（連結）



EPS=1株当たり当期純利益

ROE=自己資本利益率

上記の予想は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。



南総通運株式会社

管理部総務課

TEL : 0475-54-3581

E-mail : customer@nanso.co.jp